

令和7年度「家族とのふれあい川柳」入賞作品一覧

【小学生の部】

賞	作品（川柳）	学校名（市内）	学年	作者コメント
最優秀	ねる前の 話とギューで がんばれる	吉和小学校	2年	ぼくにとって、ねる前におうちの人とお話をしたり、ギューすることは、明日もがんばろうと思えます。ぼくも明日がんばるから、お母さんもがんばってねと思っています。
優秀	スマホより 兄の話が おもしろい	向島中央小学校	6年	ぼくは、夜に兄の話を聞くことが好きです。ゲームやタブレットで遊ぶことも楽しいけど家族と話す時間を大切にしてほしいという思いをこめました。
優秀	もっと見て スマホじゃなくて 私たち	向島中央小学校	6年	近年、SNSが流通し始めてからスマホを見る機会が多くなった家族に対して、もっと私を見てほしい、もっとお話したい、と日々思う私の気持ちをこの作品にこめました。
入選	ぼくの家 あれこれそれで つうじちゃう	御調西小学校	5年	ぼくとお母さんがあれとかこれで話していると、お父さんに「何で通じるの」と言われたのに、お父さんもあれとかこれを使って話しているのを思い出したからこれを作りました。
入選	伝えよう 目を見て話すと あたたかい	向島中央小学校	6年	伝えるときに相手の目を見ながら話すと、自分の伝えたい内容が相手に伝わります。また、相手の気持ちも分かるので、会話が楽しくなり、あたたかくなります。
入選	スマホより あなたの子供 見つめよう	栗原北小学校	6年	スマートフォンを見ながら子供の話を聞いている大人の姿が、テレビに映っていました。しっかりと子供の目を見て話を聞いて、成長を感じて欲しいという思いで作りました。
入選	顔を見て 会話はずむよ ノーテレビ	因島南小学校	6年	この作品は、テレビを見ないことで人と人との会話が増えると思ったことがきっかけで作りました。テレビを見るより人の顔を見ることが良いと考えました。

【中学生の部】

賞	作品（川柳）	学校名（市内）	学年	作者コメント
最優秀	ありがとう 素直に言えず 備蓄中	向島中学校	3年	米不足から社会を救った備蓄米放出。その反面、私の本音は未だ備蓄中。恥ずかしくて素直に言えない想いがある。いつも家族を支えてくれる両親へいつかは伝えたい。
優秀	食卓で 今日の話に 花が咲く	向島中学校	3年	家族と食卓を囲んで、今日の出来事を楽しく語り合い、笑い合うこと。その何気ない時間が宝物であり、日常の幸せや団らんのかさに感謝して、毎日を大切に過ごしてほしい。
優秀	がんばるね！ 家族の顔見て 行ってきます	日比崎中学校	3年	妹が毎朝「がんばるね」と寂しい思いを隠して言っているのを見て思いました。家族の顔を見て笑顔で「行ってきます」と言えるのは幸せなことだと改めて気づきました。
入選	夏の日に 四人えんがわ すする音	向島中学校	1年	普段みんなの生活時間が合わない時があり、全員そろって食事をとるのが難しいこともあるので、夏休みの休みの日の風景を思って考えました。そうめんを音で表現しました。
入選	電源を 切れば心が つながった	御調中学校	1年	僕は、「心」という言葉が好きだったので川柳に入れました。電源を切ると自然と家族との会話が生まれ、心がつながる温かさを実感したので、その思いを作品に込めました。
入選	休日は スマホはOFFで 笑顔ON	高西中学校	2年	普段ついスマートフォンに夢中になりがちなので、休日くらいは手を止めて、家族と笑いあう時間を大切にしていけたらいいなという思いを込めて書きました。